



街をみんなで“niji-ro”に
その種を届けるニュースレター

にじのたね

多様な性のあり方を知る

にじいろ協働事業通信 Vol.1 2018.6.1



協働チーム「にじいろキャンパスSENDAI」のメンバー

niji-ro news

にじいろ協働事業始まりました!

「仙台市が多様な性のあり方を受容する、にじいろの街になって欲しい」そんな願いを込めたニュースレター『にじのたね』は仙台市の『にじいろ協働事業』のひとつとしてスタートします。

《にじいろ協働事業》

①にじいろスピーカー派遣

多様な性のあり方についての講座などお手伝いします。

②ニュースレター・にじのたね

仙台市の施設などで配布し、市民に広く啓発します。

③コミュニティスペース・にじのひろば

仙台市男女共同参画推進センターで来場者とコミュニケーションしながら、情報を紹介したり、必要に応じてサポートを提供します。

④啓発イベント・せんだいレインボーDay

多様な性のあり方に触れられるイベントです。

多様な性のあり方は、社会に徐々に浸透し、社会的にも認知されはじめたり、性的マイノリティ当事者の活動が活性化したりしています。とはいえ、実際は具体的な施策や社会の“受容”にはなかなか至らないのが現状です。仙台市と市民団体・東北HIVコミュニケーションズは協働で進める4つの取組みを通して多様な性のあり方について分かりやすく伝えながら、行政や地域、市民の一人一人が「多様な性」について自分ごととしてとらえられるように、取組みを進めていきます。

… contents …

<niji-ro news>

にじいろ協働事業は始まりました

<niji-ro special>

レインボーフラッグ、プライド月間

<niji-ro thinking>

『多様な性』ってどういうこと?

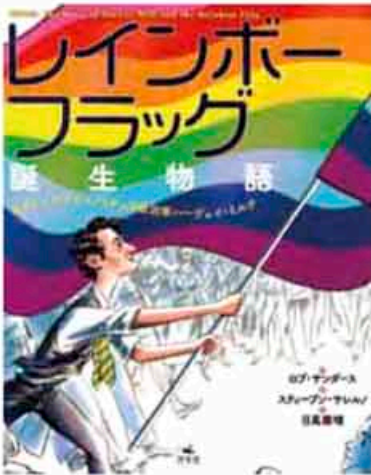




nijihiro special

レインボーフラッグ、プライド月間、多様な性にYES!の日...
『多様な性』の象徴や記念日、パレードなどをみんなで知ろう

お互いの存在を祝福しあい、尊重しあい、力づけあう「プライドパレード」にはためく「レインボーフラッグ」。色んな色が重なる“虹色”は多様な存在を認めあう象徴！とてもステキな表現ですね



『レインボーフラッグ誕生物語』
ロブ・サンダース
作、スティーブン・サレルノ
絵、日高庸晴訳／汐文社



4月28日から5月6日に行われた『東京レインボープライド2018』には、パレード7000人、ウィークイベント約70イベント5000人含み、約15万人もの人々が参加

《プライドパレードとレインボーフラッグ》

沿道には小さなフラッグ、その間を何キロも続く巨大な旗を持ったパレードが大きな川のうねりのように続く。この象徴的なパレードは“欧米のプライドパレード”として毎年報道されていますが、実は日本でも20年以上前から行われています。1969年6月、性的マイノリティの運動が始まったことを起源に、毎年6月を『プライド月間』として、多くの国でこのパレードが行われています。

このフラッグを生んだのは、公言しているゲイとしてはアメリカで最初の政治家ハーヴェイ・ミルク。それまでも、人種差別、女性差別、障がい者差別など、さまざまな差別に対する運動がありましたが、その中でも『多様』という価値観と、たくさんの色が重なる『レインボーフラッグ』というシンボルを生み出したミルクの功績は大きいですね。

《多様な性にYES!の日》5月17日

同性愛が精神疾患のように医学で治療するものではなく、人権として尊重されるものであるとされた記念日。

《ストーンウォールデー》6月28日

1969年6月28日の事件「ストーンウォールの暴動」があった日。ゲイリベレーション(性的マイノリティの権利擁護運動)の始まりの日とされている。毎年6月の『プライド月間』もここから生まれた。

《カミングアウトデー》10月11日

《トランスジェンダー追悼の日》11月21日

…など、たくさんの記念日があり、『多様な性』について知ったり、表現したりする機会は身近にあります。私たちが暮らす仙台でも、みんなで見たり、一緒に考えたりしていきたいですね。



nijihiro topics



東北HIVコミュニケーションズ

HIV感染症(エイズ)によって、自らの生命や生き方に影響を受けた人々が共に生きる社会を創るため、1993年12月に設立。疾病やセクシュアリティなどに刻まれたスティグマ(汚名、恥辱などの意)を克服し、自らの力を回復して、自己決定で生を歩むことを目標としています。

事務局;みやぎのいのちと人権リソースセンター内 tel/fax 022-298-8532 mail;thc@silk.plala.or.jp

今年で25周年を迎えました！
様々な集いの開催や同行支援、
相談や人材育成を行っています。



nijiiro thinking

多様な性ってどういうこと？ 普通と違うこと？ 誰もが持っている『多様な性』について考える

生まれた時に戸籍で決められた性別や社会の決め事、見た目や体の形にとらわれず、自分らしい性のあり方について感じたり考えたりすること。それが『多様な性』。あなたはどんな自分でありたいですか？

L レズビアン (女性同性愛者)	G ゲイ (男性同性愛者)
B バイセクシャル (両性愛者)	T トランスジェンダー (決められた性と自認する性が違う人)

性のあり方が典型的な男女と異なる人たち、性的マイノリティを差す。それぞれの頭文字をとって表した。

SOGI
ソジ

SO
性的指向

GI
性自認

割り当てられた性別、性的指向、性自認などの組合せで、性の種類はたくさんある。組合せは自分でひとそれぞれである。

自己肯定感

自分のあり方、価値、存在意義を肯定できる感情などを意味する。外的な影響から自分を守り自分らしく生きる力になる。

《戸籍上の性は2つだけど性のあり方はたくさんある》

「マッチョだけど心はおとめ」「美人だけど男まさり」
「ジェントルマンで家事が得意」「パパみたいなママ」…
子どもも大人も周りを見渡すと、「男らしい」「女らしい」で分けられない、いろんな個性がありますね。
戸籍上の性別は男女の2つですが、どんな自分でありたいかは2つで分けられるものではありません。その中身には男女もあるし中間もある。また分ける基準も、こうだと感じている性、身体の特徴からの性、社会に表現している性などがあり全部が一致していてもいいし、違ってもいい。それを言葉にしたのが『多様な性』です。
誰もが持っている性のあり方だけど、自分はどうかと考えた経験はなかなかありませんね。ありのままの自分を考えるきっかけになりそうです。

《多様な性と自己肯定感》

とはいっても、現在の社会では単純に男と女に分けて「男は〇〇」「女だから〇〇」と決めつけてしまいがち、なのが現実です。男にも女にも当てはまらないように感じる自分を否定したり、他の人とは違うと疎外感を感じたりしてしまう人も多いのではないのでしょうか。
「一人ひとり違う性のあり方で良くて、自由に感じたり考えたりしていい」そんなふうに分けられず、自分らしい人生に繋がります。時には環境の変化や成長段階で感覚が変化することもあるでしょう。また、社会も個人と同じようになっています。そのため希望を持ったり失望したり、さまざまな影響を受けることもあるでしょう。「ありのままの自分」を自分で引き受ける。自分のあり方を自分で決める。そんなふうになっていけたら良いですね。

男女共同参画せんだいプラン2016

『にじいろ協働事業』は
ここからスタート！
仙台市全体で考えていきます

仙台市は、「仙台市男女共同参画推進条例」に基づき、「男女平等のまち・仙台」の実現に向けて取り組むべき課題を明らかにし、男女共同参画推進施策を総合的かつ計画的に推進するため、『男女共同参画せんだいプラン』を策定しています。「男女共同参画せんだいプラン2016」では、「多様な性のあり方についての理解の促進」「性的少数者への支援のあり方の検討」が盛り込まれました。「にじいろ協働事業」は、このことをきっかけとして始まりました。



nijiiro information

『せんだいレインボーDay』7月7日(土)8日(日)開催します

- OUT IN JAPAN 500人展
- 映画「私はワタシ」上映会
- KIYO & WE ARE ONE CHOIR
スペシャルコンサート
- ヒューマンライブラリー
- にじの交差点



壁一面に当事者のポートレートが飾られた「OUT IN JAPAN 500人展」ではQRコードでメッセージにアクセス。

LGBTsのインタビューと彼らの生き様などを収めた映画「私はワタシ」では時に重く悲しく、時にキュートでファンタジックな言葉に触れる。

ゲイをカミングアウトしている仙台出身のアーティストKIYOとゴスペルクワイヤーの力強い歌声に励まされ、当事者が自身のストーリーを語る「ヒューマンライブラリー」でありのままの自分について考える...

自らをみつめるメッセージに溢れ、心に響く2日間を仙台で味わいませんか？

8日(日)開催の「にじの交差点」では、地元の当事者グループの紹介をはじめ様々な情報提供、レインボーグッズの販売も行われます。家族、友人とともに。ひっそり自分探しに。それぞれの思いでぜひ訪れてみてください。

日時:2018年7月7日(土)13:00~17:00

コンサートは17:00~19:00

7月8日(日)10:00~17:00

会場:エル・パーク仙台

ギャラリーホール、スタジオホール

※詳しいタイムスケジュールはにじいろ協働事業のホームページをご確認ください。

『私はワタシ~over the rainbow~』

監督:増田玄樹/企画・プロデューサー:東ちづる/
2017年/日本/90分/日本語(日本語字幕)

多様な性のあり方の理解と課題の可視化について 多様な協働の場を創出する事業 ~にじいろ協働事業~

仙台市市民協働事業提案制度は、市民活動団体、町内会、企業その他のまちづくりに関わる多様な主体から、地域の課題解決や魅力向上に資する事業の提案を募集し、仙台市と提案団体が協働で実施する制度です。東北HIVコミュニケーションズは、にじいろ協働事業を提案し、平成30年度事業として採択されました。

にじいろキャンパスSENDAI(仙台市、東北HIVコミュニケーションズ、性的マイノリティもそうじゃない人も含む市民有志で構成)

事務局 〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎのいのちと人権リソースセンター内
東北HIVコミュニケーションズ
TEL/FAX 022-298-8532
[E-MAIL] office@sendai-nijiiro.main.jp
[HP] http://sendai-nijiiro.main.jp/



「個性」は誰にでもある。そんなふうには認めていたつもりでしたが、社会通念や固定概念が自分の中に想像以上にあり、そのメガネで性的マイノリティの皆さんを見ていたと気づきました。『多様な性』は誰にでも必要だと感じ、自分にとってはとても魅力的でした！ぜひ皆さんも一緒に考えていきましょう。
(編集部)

●ご意見、ご感想、質問などお寄せください●
にじいろキャンパス SENDAI / にじいたね係

発行 にじいろキャンパスSENDAI
発行日 2018年6月1日
デザイン・編集 トト・ライティング
発行部数 2000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗
市内外の男女共同参画センター